

第14回 高知県立病院経営健全化推進委員会

次 第

日時：令和2年1月16日（木）18時30分～20時30分

会場：高知共済会館 3階「桜」

1 開 会

公営企業局長あいさつ

委員紹介

事務局紹介

2 議 事

(1) 平成30年度及び令和元年度の経営状況について

【資料1、1-2、1-3】

(2) 第6期経営健全化計画の取組状況について

【資料2】

3 その他

4 閉 会

配布資料

資料1 県立病院の経営状況について

資料1-2 第6期経営健全化計画（平成29～令和2年度）の概要

資料1-3 入院収益・外来収益にかかる計画数値と実績数値の比較（令和元年度11月末累計）

資料2 第6期経営健全化計画の取組状況（令和元年度第3四半期実績まで）

1 平成30年度 経営状況（決算）の概要

(単位:百万円)

項目	あき総合病院			幡多けんみん病院			2病院合計		
	H29	H30	差引 (H30-H29)	H29	H30	差引 (H30-H29)	H29	H30	差引 (H30-H29)
収									
医業収益①	4,100	4,272	172	6,141	5,927	▲214	10,241	10,199	▲42
うち 入院収益	2,862	2,983	121	4,338	4,161	▲177	7,200	7,144	▲56
うち 外来収益	1,158	1,209	51	1,630	1,592	▲38	2,788	2,801	13
益 (A)									
医業外収益②	1,733	1,747	14	1,816	1,818	2	3,549	3,565	16
うち 他会計繰入金	1,287	1,295	8	1,263	1,275	12	2,551	2,570	19
特別利益	6	7	1	11	13	2	17	19	2
収益計	5,840	6,026	186	7,967	7,757	▲210	13,807	13,783	▲24
費 (B)									
医業費用③	5,498	5,728	230	7,670	7,741	71	13,168	13,469	301
うち 給与費	2,965	3,130	165	4,054	4,148	94	7,019	7,278	259
うち 材料費	766	763	▲3	1,361	1,320	▲41	2,127	2,082	▲45
うち 減価償却費	642	610	▲32	748	722	▲26	1,390	1,332	▲58
医業外費用④	283	280	▲3	441	425	▲16	725	705	▲20
うち 支払利息及び企業債 取扱諸費	113	105	▲8	171	158	▲13	283	264	▲19
特別損失	48	35	▲13	45	36	▲9	94	72	▲22
費用計	5,830	6,043	213	8,157	8,202	45	13,987	14,245	258
当年度損益(A-B)	10	▲17	▲27	▲189	▲445	▲256	▲180	▲462	▲282
収益的資金収支	317	250	▲67	177	▲97	▲274	494	153	▲341
医業収支(①-③)	▲1,398	▲1,456	▲58	▲1,529	▲1,814	▲285	▲2,927	▲3,269	▲342
経常収支(①+②-③-④)	52	12	▲40	▲155	▲421	▲266	▲103	▲409	▲306

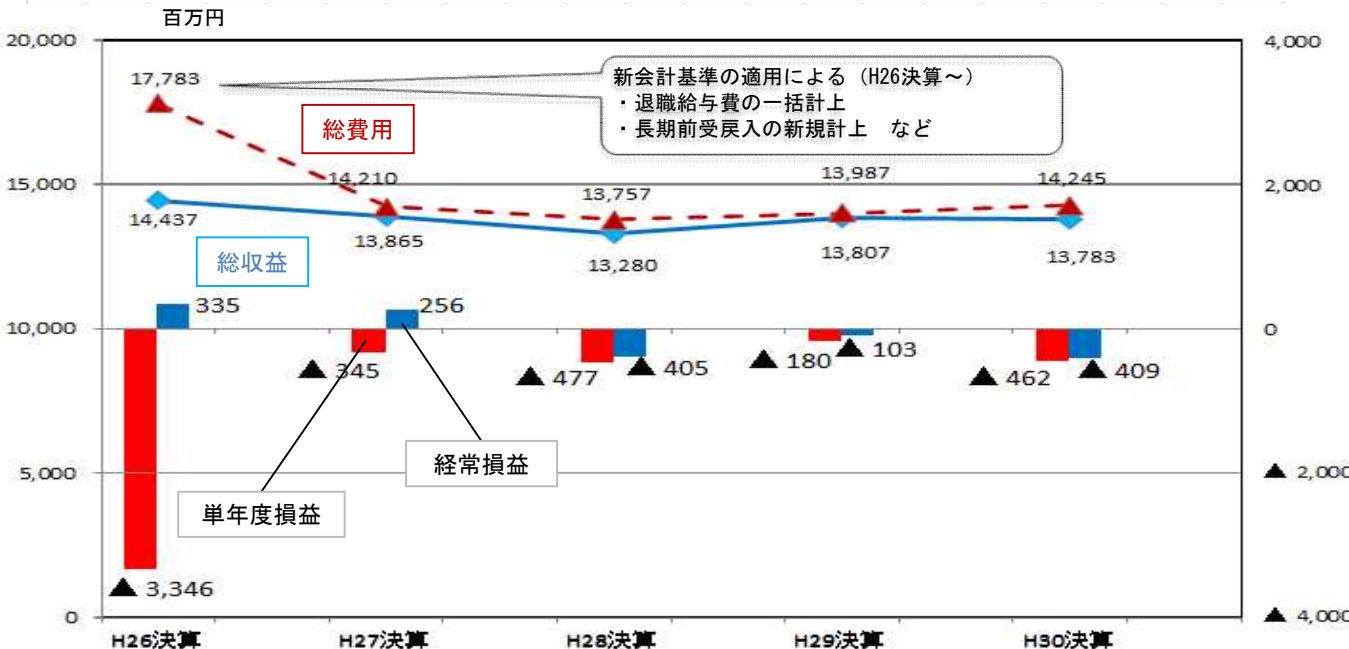
注)項目ごとに端数処理しているため、合計が一致しないことがある。

2 病院事業会計決算（2病院合計）の推移

(単位:百万円)

	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算	H30計画
総収益	14,437	13,865	13,280	13,807	13,783	13,772
総費用	17,783	14,210	13,757	13,987	14,245	14,080
単年度損益	▲3,346	▲345	▲477	▲180	▲462	▲308
経常損益	335	256	▲405	▲103	▲409	▲233
医業損益	▲2,234	▲2,336	▲3,111	▲2,927	▲3,269	▲3,061

注)「医業損益」の「H30計画」の数値は、通常の決算ベースに換算した数値。



3 平成27～30年度における経営指標

(1) あき総合病院

診療機能	単位	H27	H28	H29	H30		前年比 (H30-H29)	計画比 (実績-計画)		
					計画	実績				
診療機能	救急車受入件数	件	1,679	1,708	1,876	1,732	1,912	36	180	
	手術件数	件	823	873	879	883	847	▲32	▲36	
	新入院患者数	人	3,357	3,162	3,217	3,206	3,243	26	37	
	紹介患者数	人	1,967	1,876	1,811	1,769		▲42		
	逆紹介患者数	人	2,758	2,678	2,628	2,649		21		
経営指標	経常収支比率	%	101.2	97.5	100.9	98.8	100.2	▲0.7	1.4	
	一般	1日平均入院患者数	人	149.7	150.2	162.1	149.9	160.3	▲1.8	10.4
		病床利用率(稼働)	%	85.4	85.4	92.0	85.7	91.2	▲0.8	5.5
		入院診療単価	円	40,313	41,672	41,122	43,521	43,558	2,436	37
	精神	1日平均入院患者数	人	79.4	77.4	78.3	76.8	78.9	0.6	2.1
		病床利用率(稼働)	%	88.2	86.0	87.0	85.4	87.6	0.6	2.2
入院診療単価		円	15,140	15,453	15,002	15,491	15,117	115	▲374	

(2) 幡多けんみん病院

診療機能	単位	H27	H28	H29	H30		前年比 (H30-H29)	計画比 (実績-計画)	
					計画	実績			
診療機能	紹介患者数	人	3,202	3,096	2,935	2,941	6		
	逆紹介患者数	人	6,570	6,521	6,750	6,585	▲165		
	紹介率	%	30.8	30.8	32.5	36.8	33.7	1.2	▲3.1
	逆紹介率	%	63.1	64.8	74.8	65.8	75.4	0.6	9.6
	新入院患者数	人	6,124	5,634	5,847	5,983	5,539	▲308	▲444
	手術件数	件	2,152	1,807	1,912	1,788		▲124	
経営指標	救急車受入件数	件	2,446	2,463	2,633	2,633	0		
	経常収支比率	%	102.4	96.7	98.1	98.0	94.8	▲3.3	▲3.2
	1日平均入院患者数	人	230.9	223.1	230.2	232.8	213.0	▲17.2	▲19.8
	病床利用率(稼働)	%	73.9	71.5	76.7	74.9	73.0	▲3.7	▲1.9
入院診療単価	円	52,073	51,156	51,617	51,800	53,526	1,909	1,726	

4 令和元年度11月末における経営指標

注)救急車受入件数、新入院患者数、手術件数、入院収益及び外来収益の計画値は4～11月分に換算した数値・金額。

(1) あき総合病院

	単位	R1.11末 実績値	R1 計画値	
救急車受入件数	件	1,220	1,180	
新入院患者数	人	2,127	2,227	
手術件数	件	632	607	
一般	入院収益	百万円	1,707	1,612
	病床利用率(稼働)	%	91.0	85.8
	1日平均入院患者数	人	159.7	150.1
	入院診療単価	円	43,807	44,211
	外来収益	百万円	761	704
	1日平均外来患者数	人	415.5	407.3
精神	外来診療単価	円	11,313	10,705
	入院収益	百万円	300	289
	病床利用率(稼働)	%	88.5	85.4
	1日平均入院患者数	人	79.7	76.8
	入院診療単価	円	15,425	15,491
	外来収益	百万円	68	76
1日平均外来患者数	人	58.0	59.1	
外来診療単価	円	7,272	7,556	

(2) 幡多けんみん病院

	単位	R1.11末 実績値	R1 計画値
新入院患者数	人	4,015	4,120
紹介率	%	34.3	39.8
逆紹介率	%	64.0	67.8
入院収益	百万円	3,113	3,000
病床利用率(稼働)	%	78.4	76.1
1日平均入院患者数	人	228.8	236.6
入院診療単価	円	55,757	51,813
外来収益	百万円	1,163	1,083
1日平均外来患者数	人	502.8	521.9
外来診療単価	円	14,275	12,818

1. 計画の目標(目指す姿)

■地域生活(QOL)を支える中核病院として、地域の医療機関等との連携のもと、質の高い医療の持続的な提供が可能となる健全経営を目指す!

2. 目標達成に向けた重点取り組み項目

(1) 県民が地域地域で安心して住み続けられる医療提供体制の整備!

(1) 地域医療構想を踏まえた県立病院の果たすべき役割の発揮

- ①急性期病院としての医療機能の充実・強化
 - 地域医療構想で示された必要病床数への対応
 - 救急医療体制の充実(あき総合)
 - 地域がん診療連携拠点病院としての診療機能の充実(幡多けんみん)
 - 地域がん診療病院の指定に向けた機能の充実(あき総合)
- ②地域医療を支えるためのネットワークづくり(医師の派遣・応援システム)

(2) 地域包括ケアシステムの構築の推進に向けた機能の充実・強化

- ①地域包括ケア病棟を活用した在宅医療等との連携の強化(あき総合)
- ②介護・福祉分野等との連携の推進

(3) 医療人材の安定確保!

医師等の医療スタッフを確保・育成するための取組の強化

- ①医師をはじめとする医療スタッフの安定確保
 - 大学との連携強化・PNSの試行
- ②医師の養成研修への積極的な対応
 - 初期臨床・専門医研修の受入体制の整備
- ③医師以外の医療スタッフの専門性の向上
- ④各種の業務補助者の適正配置
- ⑤プロパー事務職員の専門性の向上

(2) 医療機能の向上による経営の健全化!

質の高い医療の提供につながる経営改善目標の設定

- ①収益の安定確保につながる取組の強化
 - 医療サービスの質と収益性の高い医療の提供に向けたDPC機能評価係数の向上等の検討。
- ②病院機能評価を通じた医療サービスの質の改善(患者満足度の向上)
 - 病院機能の評価項目ごとの定期的な点検を通じた改善策の検討。
- ③収支計画を踏まえた計画的な投資戦略
 - 医療業務と経営の効率化といった観点からの電子カルテの更新時期の検討。
- ④材料費の適正管理
- ⑤未収金発生の未然防止と適正管理による縮減
 - 債権管理条例や未収金管理マニュアル等に基づく未収金発生 of 未然防止と適正管理

(4) 南海トラフ地震対策の充実・強化!

熊本地震等を踏まえた第3期南海トラフ地震対策行動計画の見直し等への対応

- ①業務継続計画(BCP)の実効性の担保
 - 医療機器等の安全性の確保
 - 重症患者の院内からの搬送体制の整備
 - 応援医療チームの受入体制の整備
- ②災害訓練等の充実・強化
 - 患者収容能力の向上など、災害拠点病院としての役割・機能の発揮を想定した訓練の実施

3. 収支計画における経営目標

■県立病院として、「令和2年度までに病院事業全体で経常収支の黒字が達成できる経営」を目指す!

地域医療構想を踏まえた
医療提供体制の整備!

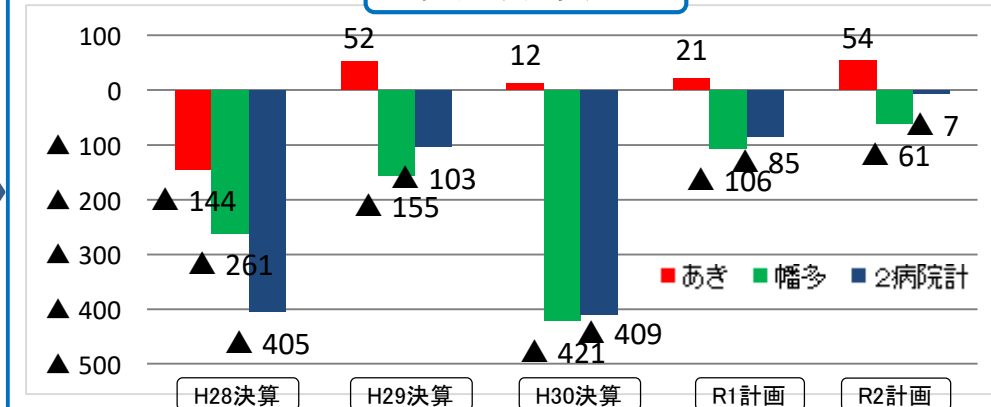
診療報酬と介護報酬の同時
改定等への適切な対応!

県立病院として地域の医療機関を
支援する機能の充実!

厳しさを増す経営環境への
迅速な対応による経営の健全化!

経常収支の見通し

(単位:百万円)



入院収益・外来収益にかかる計画数値と実績数値の比較(令和元年度11月末累計)

資料1-3

◎R1計画金額は、第6期経営健全化計画における令和元年度の入院・外来収益の計画数値に平成30年度実績に基づく月別構成比率を乗じて算出。

(但し、R1計画金額は税抜きで、R1実績、H30実績の金額は税込み。)

○あき総合病院 (単位:円)

入院収益	計(11月末)
R1計画 (A)	1,900,225,483
R1実績 (B)	2,006,497,613
H30実績 (C)	1,978,751,717
(B)-(A) 計画比	106,272,130
(B)-(C) H30同期比	27,745,896

外来収益	計(11月末)
R1計画 (A)	780,585,677
R1実績 (B)	829,731,969
H30実績 (C)	804,644,321
(B)-(A) 計画比	49,146,292
(B)-(C) H30同期比	25,087,648

入院・外来 計	計(11月末)
R1計画 (A)	2,680,811,160
R1実績 (B)	2,836,229,582
H30実績 (C)	2,783,396,038
(B)-(A) 計画比	155,418,422
(B)-(C) H30同期比	52,833,544

○幡多けんみん病院 (単位:円)

入院収益	計(11月末)
R1計画 (A)	3,000,353,141
R1実績 (B)	3,112,703,178
H30実績 (C)	2,782,596,851
(B)-(A) 計画比	112,350,037
(B)-(C) H30同期比	330,106,327

外来収益	計(11月末)
R1計画 (A)	1,083,128,505
R1実績 (B)	1,162,659,710
H30実績 (C)	1,056,692,098
(B)-(A) 計画比	79,531,205
(B)-(C) H30同期比	105,967,612

入院・外来 計	計(11月末)
R1計画 (A)	4,083,481,646
R1実績 (B)	4,275,362,888
H30実績 (C)	3,839,288,949
(B)-(A) 計画比	191,881,242
(B)-(C) H30同期比	436,073,939

◎県立病院 計 (単位:円)

入院収益	計(11月末)
R1計画 (A)	4,900,578,624
R1実績 (B)	5,119,200,791
H30実績 (C)	4,761,348,568
(B)-(A) 計画比	218,622,167
(B)-(C) H30同期比	357,852,223

外来収益	計(11月末)
R1計画 (A)	1,863,714,182
R1実績 (B)	1,992,391,679
H30実績 (C)	1,861,336,419
(B)-(A) 計画比	128,677,497
(B)-(C) H30同期比	131,055,260

入院・外来 計	計(11月末)
R1計画 (A)	6,764,292,806
R1実績 (B)	7,111,592,470
H30実績 (C)	6,622,684,987
(B)-(A) 計画比	347,299,664
(B)-(C) H30同期比	488,907,483

あき総合病院 入院収益・外来収益の過去実績との比較(11月末累計値)

○入院収益

(単位:円)

	11月までの累計値			差引1(元-30)	差引2(元-26)	
	元年度	30年度	26年度			
あき総合病院	内科	449,333,898	402,786,118	262,576,184	46,547,780	186,757,714
	呼吸器内科	37,079,398	68,059,252	41,156,018	▲ 30,979,854	▲ 4,076,620
	消化器内科	6,653,380	12,654,988	50,166,217	▲ 6,001,608	▲ 43,512,837
	循環器内科	255,811,012	294,546,871	99,856,210	▲ 38,735,859	155,954,802
	小児科	18,083,626	19,763,818	15,658,936	▲ 1,680,192	2,424,690
	外科	308,673,018	310,905,798	319,750,100	▲ 2,232,780	▲ 11,077,082
	整形外科	402,366,605	360,551,584	375,870,484	41,815,021	26,496,121
	脳神経外科	111,766,473	109,793,357	0	1,973,116	111,766,473
	心臓血管外科	0	2,730	0	▲ 2,730	0
	皮膚科	524,450	332,716	6,011,821	191,734	▲ 5,487,371
	泌尿器科	4,787,259	14,096,699	11,278,004	▲ 9,309,440	▲ 6,490,745
	産婦人科	47,544,630	57,448,056	47,351,867	▲ 9,903,426	192,763
	眼科	26,347,170	20,819,853	14,725,977	5,527,317	11,621,193
	耳鼻いんこう科	19,032,722	12,324,034	17,794,191	6,708,688	1,238,531
	形成外科	18,576,908	6,971,076	209,434	11,605,832	18,367,474
	神経内科	0	154,570	0	▲ 154,570	0
	小計	1,706,580,549	1,691,211,520	1,262,405,443	15,369,029	444,175,106
精神科	299,917,064	287,540,197	272,476,696	12,376,867	27,440,368	
計	2,006,497,613	1,978,751,717	1,534,882,139	27,745,896	471,615,474	

○外来収益

(単位:円)

	11月までの累計値			差引1(元-30)	差引2(元-26)	
	元年度	30年度	26年度			
あき総合病院	内科	185,325,737	174,262,586	123,270,248	11,063,151	62,055,489
	呼吸器内科	43,285,929	31,282,126	16,694,330	12,003,803	26,591,599
	消化器内科	44,058,574	50,256,226	46,626,806	▲ 6,197,652	▲ 2,568,232
	循環器内科	60,655,613	60,787,450	32,775,130	▲ 131,837	27,880,483
	小児科	24,383,213	24,832,116	35,525,678	▲ 448,903	▲ 11,142,465
	外科	110,669,435	93,156,905	82,716,803	17,512,530	27,952,632
	整形外科	91,059,261	94,079,859	90,944,992	▲ 3,020,598	114,269
	脳神経外科	25,176,817	26,198,919	5,516,868	▲ 1,022,102	19,659,949
	心臓血管外科	1,669,365	1,752,216	943,515	▲ 82,851	725,850
	皮膚科	12,996,169	14,722,549	19,375,103	▲ 1,726,380	▲ 6,378,934
	泌尿器科	78,130,324	84,483,962	80,058,412	▲ 6,353,638	▲ 1,928,088
	産婦人科	25,907,449	20,593,336	15,994,385	5,314,113	9,913,064
	眼科	24,193,758	24,917,138	24,783,064	▲ 723,380	▲ 589,306
	耳鼻いんこう科	22,850,659	20,789,454	21,897,427	2,061,205	953,232
	形成外科	6,619,535	4,842,288	3,343,310	1,777,247	3,276,225
	神経内科	4,437,204	3,941,179	2,108,129	496,025	2,329,075
	小計	761,419,042	730,898,309	602,574,200	30,520,733	158,844,842
精神科	68,312,927	73,746,012	73,487,184	▲ 5,433,085	▲ 5,174,257	
計	829,731,969	804,644,321	676,061,384	25,087,648	153,670,585	

幡多けんみん病院 入院収益・外来収益の過去実績との比較(11月末累計値)

○入院収益

(単位:円)

	11月までの累計値			差引1(元-30)	差引2(元-29)	
	元年度	30年度	29年度			
幡多けんみん病院	内科	366,646,742	282,506,452	238,748,928	84,140,290	127,897,814
	精神科	0	0	0	0	0
	神経内科	0	0	0	0	0
	呼吸器内科	0	0	0	0	0
	消化器内科	308,861,613	288,004,576	313,352,625	20,857,037	▲ 4,491,012
	循環器内科	412,588,468	294,788,718	295,342,217	117,799,750	117,246,251
	小児科	168,128,455	161,358,787	157,915,243	6,769,668	10,213,212
	外科	456,394,742	503,113,412	464,995,474	▲ 46,718,670	▲ 8,600,732
	整形外科	610,207,113	574,176,207	558,039,851	36,030,906	52,167,262
	脳神経外科	417,496,943	321,897,023	346,142,712	95,599,920	71,354,231
	皮膚科	38,839,116	10,900,833	17,751,665	27,938,283	21,087,451
	泌尿器科	61,462,577	65,882,190	100,462,944	▲ 4,419,613	▲ 39,000,367
	産婦人科	233,438,148	210,098,518	228,166,814	23,339,630	5,271,334
	眼科	0	0	0	0	0
	耳鼻いんこう科	27,141,671	37,963,738	70,161,222	▲ 10,822,067	▲ 43,019,551
	リハビリ科	0	0	0	0	0
	放射線科	970,246	755,703	0	214,543	970,246
	麻酔科	10,527,344	31,150,694	31,667,892	▲ 20,623,350	▲ 21,140,548
計	3,112,703,178	2,782,596,851	2,822,747,587	330,106,327	289,955,591	

○外来収益

(単位:円)

	11月までの累計値			差引1(元-30)	差引2(元-29)	
	元年度	30年度	29年度			
幡多けんみん病院	内科	133,591,567	108,615,479	108,681,833	24,976,088	24,909,734
	精神科	0	0	0	0	0
	神経内科	0	0	0	0	0
	呼吸器内科	0	0	0	0	0
	消化器内科	218,796,655	204,631,733	189,542,815	14,164,922	29,253,840
	循環器内科	64,455,941	60,359,042	61,511,532	4,096,899	2,944,409
	小児科	79,149,242	72,002,533	72,553,692	7,146,709	6,595,550
	外科	245,728,280	211,119,287	221,621,107	34,608,993	24,107,173
	整形外科	76,660,596	73,355,251	74,493,795	3,305,345	2,166,801
	脳神経外科	76,834,777	80,966,881	79,982,138	▲ 4,132,104	▲ 3,147,361
	皮膚科	36,379,350	19,660,480	22,140,159	16,718,870	14,239,191
	泌尿器科	91,173,526	97,325,707	106,059,379	▲ 6,152,181	▲ 14,885,853
	産婦人科	62,123,140	54,926,101	51,178,446	7,197,039	10,944,694
	眼科	48,868,303	37,819,315	33,466,103	11,048,988	15,402,200
	耳鼻いんこう科	19,762,576	23,584,941	32,308,336	▲ 3,822,365	▲ 12,545,760
	リハビリ科	0	0	0	0	0
	放射線科	8,717,970	11,119,528	7,998,777	▲ 2,401,558	719,193
	麻酔科	417,787	1,205,820	2,508,022	▲ 788,033	▲ 2,090,235
計	1,162,659,710	1,056,692,098	1,064,046,134	105,967,612	98,613,576	

第6期経営健全化計画の取組状況【あき総合病院】

	No.	具体的な取組内容	達成状況	R元年度 第3四半期評価				コメント							
				指標	目標値				計画達成	進捗状況		評価保留			
					H28年度 (実績)	H29年度 (計画)	H29年度 (実績)			H30年度 (計画)	H30年度 (実績)		R元年度 (計画)	R2年度 (計画)	計画以上
① 地域医療構想を踏まえた県立病院の果たすべき役割の発揮 ② 地域包括ケア病棟を活用した在宅医療等との連携の強化	1	急性期医療への対応を中核とした県立病院としての果たすべき役割を踏まえ、医療機能や病床規模等を検討する。 ①在宅医療を支援する急性期後の回復期ケア等のために必要となる地域包括ケア病床の確保 ②新たな地域精神保健医療体制の方向付け等を踏まえた精神科病床の規模 →H30年度診療報酬改定に向けてH29年度中にHCU設置の有無及び、地域包括ケア病床の規模を決定する。	(検討の経過) ・H29.5 コンサル契約及びキックオフ ・H29.6 コンサルと各部署とのヒアリング ・H29.7.8 毎月の経営幹部会議でコンサルから検討内容報告 ・H29.10 コンサルからの中間報告 →地域包括ケア病棟(40床～60床程度)の増床が必要と考えられる。 ・H30.3 コンサルからの報告 →地域包括ケア病棟(40床～60床程度)の増床が必要と考えられる。									資料2 必要病床数については引き続き検討中			
	2	救急医療や手術に携わる医師の増員に向けて、高知大学医学部への医師派遣要請を継続する。	(医師確保の状況・NO.31のうち該当するもの) H29.5.7.12 訪問 H30.2.3 訪問 H30.4.8.9(公営企業局のみ) 訪問 R1.5 訪問、R1.6 訪問 R1.5～高知大学医学部附属病院長が毎週診療応援で来院(随時相談できる体制となった)	1,708	1,724	1,876	1,732	1,912	1,740	1,748					
	3	健康政策部や高知医療再生機構等との連携を強化する。 →高知大学から派遣が困難な診療科の医師について、高知医療再生機構から人材派遣受入れを検討する。	(人材派遣受入の状況等・NO.32のうち該当するもの) 高知医療再生機構からの医師派遣 (H29.4～H30.8 非常勤医師1名) 高知医療再生機構からの医師派遣 R1.7に医療再生機構と協議・打合せを実施 (なお、R1.4～1名派遣受入れ:高知家プログラム)		873	875	879	883	847	891	899				
	4	必要に応じて医師の公募を行う。 →高知大学の了承のもとホームページで医師の公募を行う。	(公募の状況等・NO.33のうち該当するもの) ・今年度は公募実績なし		3,162	3,206	3,217	3,206	3,243	3,206	3,206				
	5	専門医制度における研修医等の受入体制を強化する。 →専門研修プログラムの連携施設に登録し、宿舍、医局等の研修環境を整備する。(再掲)	(再掲) NO.37に記載												
	6	がん診療に携わる医師の増員に向けて、高知大学医学部への医師派遣要請を継続する。	(医師確保の状況・NO.31のうち該当するもの) H29.5.7 訪問 H30.2.3 訪問 H30.4.8.9(公営企業局のみ) 訪問 R1.5 訪問、R1.6 訪問 R1.5～高知大学医学部附属病院長が毎週診療応援で来院(随時相談できる体制となった)												
	7	健康政策部や高知医療再生機構等との連携を強化する。 →高知大学から派遣が困難な診療科の医師について、高知医療再生機構から人材派遣受入れを検討する。	(人材派遣受入の状況等・NO.32のうち該当するもの) 高知医療再生機構からの医師派遣 (H29.4～H30.8 非常勤医師1名) 高知医療再生機構からの医師派遣 R1.7に医療再生機構と協議・打合せを実施 (なお、R1.4～1名派遣受入れ:高知家プログラム)												
	8	必要に応じて医師の公募を行う。 →高知大学の了承のもとホームページで医師の公募を行う。	(公募の状況等・NO.33のうち該当するもの) ・今年度は公募実績なし												
	9	がん診療連携拠点病院と定期的な合同カンファレンスを実施する。	(実施状況) H29.4 実施 H29.7月～H30.3月 キャンサーボード実施 H30.4月～H30.12月 高知大がんセンター出席 H31.4月～R元.12月 高知大がんセンター出席												
	10	がんの院内バス及び地域連携バスを整備する。	(整備状況) 高知県内で使用されているがんに関する地域連携バスを採用している(胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん、緩和医療)。院内バスに関しては前立腺がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がんに関するバスの見直し、作成を行い、整備している。												
	11	緩和ケアチームの充実及びがん相談支援センターの設置に向けた体制を整備する。	(整備状況) ・H29.4及びH29.6に院内検討会を開催 ・H29.8 がん相談支援センター設置 ・H29.12 あき総合病院がんサロンの運営要綱策定 ・H30.12 がんサロン開催 ・H31.2 がんサロン開催												
	12	地域の中核病院である県立病院から地域の医療機関に医師を派遣するための仕組みを構築する。 →派遣医師の院内サポート体制を構築する。	(派遣状況) 室戸市立室戸岬診療所 月2回外来診療 医療法人瑞鳳会森澤病院 平日月曜日当直及び土日祝(不定期) 医療法人愛生会室戸中央病院 第三土曜日 医療法人日井会田野病院 R1.6.6 外来診療 佐喜浜診療所 R1.8.27、29 外来診療												
	13	高知大学や健康政策部等との連携強化を図り、専門研修医等を積極的に受け入れるための体制を整備する。 →専門研修プログラムの連携施設に登録し、宿舍、医局等の研修環境を整備する。(再掲)	(再掲) NO.37に記載												
	14	高知医療介護情報連携システムの活用による在宅療養の支援 →在宅療養患者の情報を共有し、訪問看護事業者等からの相談対応等を行う。	(医療介護ICT利用状況) H29.5 訪問看護で1名登録 H29.9～H30.3 あき地域包括を中心に月1回ワーキンググループで運用検討実施 H30.4～H31.3 あき地域包括を中心に月1回ワーキンググループで運用検討実施 H31.1医療介護情報連携システム運用に関する意見交換会参加 H31.3高知家@ライン使用に係る説明会参加 ICT登録患者数 8名(死亡・退院入院患者を除く) H31.4～R1.12 あき地域包括を中心に月1回ワーキンググループで運用検討実施												

第6期経営健全化計画の取組状況【あき総合病院】

今後の取組	指標	目標値								No.	具体的な取組内容	達成状況	R元年度 第3四半期評価				コメント
		H28年度 (実績)	H29年度 (計画)	H29年度 (実績)	H30年度 (計画)	H30年度 (実績)	R元年度 (計画)	R2年度 (計画)	計画 達成				進捗状況			評価 保留	
		計画以上	計画通り	遅延													
b 病院機能評価を通じた質の改善(患者満足度の向上)	【一般】 病床利用率 (結核除く)	85.4%	85.4%	92.0%	85.7%	91.2%	85.8%	86.1%	20	病院機能の評価項目ごとに定期的な点検を行い、必要に応じて改善策を講じる。	(点検状況) ・R2年度の更新受審に向けた準備を進める。			○		10月7日キックオフ 1月6日までに委員会 を3回開催済み	
	1日平均 入院患者数	150.2	149.5	162.1	149.9	160.3	150.1	150.7	21	医事や給食に関する患者満足度調査を定期的実施し、改善策を検討する。	(調査実績) ・給食 H29.8 身体科に実施 満足、やや満足で47.8%。普通まで含め85%。 ・給食 H29.12 精神科に実施 満足、やや満足で84.6%。普通(0件)まで含め84.6%。 ・医事 外来 満足、やや満足で96%。無回答を除くと99%。 入院 満足、やや満足で91%。無回答を除くと98%。 ・医事 H30.8 外来 満足、やや満足で88.2%。無回答を除くと 96.8%。 入院 満足、やや満足で95.3%。無回答を除くと 100%。 ・給食 H30.9 身体科に実施 満足、やや満足で36.2%。普通まで含め80.6%。 ・給食 H30.12 精神科に実施 満足、やや満足で64.0%。普通まで含め64.0%。 ・給食 H31.2 身体科に実施 満足、やや満足で80.0%。普通まで含め93.3%。 ・給食 R元.9 身体科に実施 満足、やや満足で61.8%。普通まで含め94.1%。 ・給食 R元11 精神科に実施 満足、やや満足で8.3%。普通まで含め50.0%。			○		11月実施の精神科の 給食に関する患者満 足度調査は、対象12 名、2名未回答。 11月 医事の患者満 足度調査、1月中旬 頃報告予定	
	入院診療単価	41,672	42,842	41,122	43,521	43,560	44,211	44,901	22	接遇研修の定期的な実施を継続する。	(実施状況) H29.4 新採・転入職員へ実施 H29.6 看護補助者全員へ実施 H29.12 全職員へ実施 H30.7 外部講師による研修を実施 H30.10 外部講師による研修を実施 H30.10 自己・他者評価を実施 H31.3 外部講師による研修を実施 R1.7 接遇ラウンドを実施 R1.11 評価・フィードバックを実施。 R1.11 自己・他者評価を実施中			○			
c 収支計画を踏まえた計画的な投資戦略	【精神】 病床利用率	86.0%	85.4%	87.0%	85.4%	87.6%	85.4%	85.4%	23	地域の医療ニーズ等を踏まえ、必要な増築等を検討する。 →HCU、外来棟等の検討。	(検討の経過) H29.5 コンサル契約及びキックオフ H29.6 コンサルと各部署とのヒアリング ・H29.8、9 毎月の経営幹部会議でコンサルから検討内 容報告 ・H29.10 コンサルからの中間報告 →地域包括ケア病棟(40床～60床程度)の増床が必要 と考えられる。 H30.3 コンサルからの報告 →地域包括ケア病棟(40床～60床程度)の増床が必要 と考えられる。			○		必要病床数について は引き続き検討中	
	1日平均 入院患者数	77.4	76.8	78.3	76.8	78.9	76.8	76.8	24	収支状況を踏まえ、電子カルテ等医療機器の更新時期を検討する。	(投資計画見直しの検討状況) 高額医療機器については、耐用年数以上にハードソフト ウェア 寿命を鑑み、更新時期の再設計を行う。 電子カルテなど医療情報システム更新は、令和1年5月 にプロポーザルを行い7月に契約締結。令和2年5月GW 頃に更新予定。			○			
	入院診療単価	15,453	15,491	15,002	15,491	15,117	15,491	15,491	25	後発医薬品への切替えを促進する。	(後発医薬品使用率) H29.4-H30.3 85.8% H30.4-H31.3 88.2% H31.4-R1.6 86.6% R1.7-R1.9 89.3% R1.10-R1.12 89.6%			○			
d 材料費の適正管理	後発医薬品使用率	85.7%	87.9%	85.8%	88.4%	88.2%	88.9%	89.4%	26	在庫数量を定期的に把握し適正な管理を行う。 →在庫回転期間を短縮するために発注点(在庫がこの数になったら発注する数量)の設定を行う。	(在庫回転期間) H29年度 第1四半期在庫回転期間 薬品 20.3 診療材料34.2 第2四半期在庫回転期間 薬品 26.9 診療材料31.6 第3四半期在庫回転期間 薬品 26.6 診療材料34.0 第4四半期在庫回転期間 薬品 20.7 診療材料32.3 H30年度 第1四半期在庫回転期間 薬品 31.3 診療材料32.6 第2四半期在庫回転期間 薬品 35.4 診療材料34.4 第3四半期在庫回転期間 薬品 26.9 診療材料35.0 第4四半期在庫回転期間 薬品 16.9 診療材料37.5 H31年度 第1四半期在庫回転期間 薬品 25.1 診療材料32.1 第2四半期在庫回転期間 薬品 24.2 診療材料36.0			○		R元.12のデータが確 定していないため第2 四半期までの評価。	
	材料費比率 (対医療収益)	19.0%	19.0%	18.7%	18.1%	17.8%	18.1%	18.1%	27	棚卸資産の受払記録を効率的に作成する方法を検討する。	(受払記録の検討・作成状況) 前年度、県立病院課と共同して実態調査、他病院の調 査を行った内容を踏まえ、具体的な対応方法について、 協議しながら進める。			○		電子カルテワーキン グで検討中	
	e 未収金発生 の未然 防止と適正管理による 縮減								28	債権管理条例や未収金管理マニュアル等に基づき、未収金発生 の未然防止と適切な管理を徹底す る。 →福祉制度の利用支援等により、新たな未収金の発生を防止する。	(医療費に関する相談件数) H29.4-6 延14名 H29.7-9 延12名 H29.10-12 延15名 H30.1-3 延11名 H30.4-6 延2名 H30.7-9 延3名 H30.10-12 延5名 H31.4-R1.6 延3名 R1.7-R1.9 延8名 R1.10-R1.12 延2名			○			

第6期経営健全化計画の取組状況【あき総合病院】

	今後の取組	指標	目標値								No.	具体的な取組内容	達成状況	R元年度 第3四半期評価				コメント		
			H28年度 (実績)	H29年度 (計画)	H29年度 (実績)	H30年度 (計画)	H30年度 (実績)	R元年度 (計画)	R2年度 (計画)	計画 達成				進捗状況			評価 保留			
			計画以上	計画通り	遅延															
											29	→未収金管理マニュアルに基づく回収を継続する。	(訪問徴収、支払督促等の状況) H29.8 自宅訪問実施(4名) H29.11 督促等実施 20名 50件 H29.12 督促等実施 35名 114件 H30.9 自宅訪問実施(3名) H30.10 督促等実施 34名 145件 H30.11 自宅訪問実施(6名) R1.5 督促実施 1名 1件 R1.6 督促実施 23名 42件 R1.9 督促実施 8名 16件				○			
											30	効率的・効果的な回収業務委託となっているか、定期的に点検する。	(回収委託の状況) H29.5 12名 144万円 委託 H30.11 18名 199万円 委託 H31.4 4名 30万円委託				○			
3 医療人材の 安定確保！	a 医師をはじめとする 医療スタッフの確保										31	高知大学医学部への医師派遣要請を継続する。	(医師確保の状況) H29.5、7、11、12 訪問 H30.2、3 訪問 H30.4、8、9(公営企業局のみ) 訪問 R1.5 訪問、R1.6 訪問 R1.5~高知大学医学部附属病院長が毎週診療応援で 来院(随時相談できる体制となった)				○			
											32	健康政策部や高知医療再生機構等との連携を強化する。 →高知大学から派遣が困難な診療科の医師について、高知医療再生機構から人材派遣受入れを検討する。	(人材派遣受入の状況等) 高知医療再生機構からの医師派遣 (H29.4~H30.8 非常勤医師1名) 高知医療再生機構からの医師派遣 R1.7に医療再生機構と協議・打合せを実施 (なお、R1.4~1名派遣受入れ:高知家フログラム)				○			
											33	必要に応じて医師の公募を行う。 →高知大学の了承のもとホームページで医師の公募を行う。	(公募の状況等) ・今年度は公募実績なし				○			
											34	看護師の助産師養成機関への派遣を通じた養成を継続する。	(派遣状況) H31.3.31 高知大学大学院卒業。合格し、H31.4.1から勤務 を行っている。				○			
	b 医師の養成研修への 積極的な対応										35	初期臨床研修医を確保する。	(研修医の確保状況) H28.4 研修プログラムの認定申請 →H29年度定員が3名に増員(H28年度は定員2名) H29.4 3名の初期臨床研修医を採用 H30.4 2名の初期臨床研修医を採用 H31.4 3名の初期臨床研修医を採用 →R2年度定員が4名に増員(H20.31年度は定員3名) R2年度研修医予定者4名フルマッチ				○			H30.10 レジナビのHP に当院が掲載され た。 ・R1.9 ドクターズマガ ジン9月号の「臨床研 修指定病院紹介」に 当院掲載。 ・R2.4 研修医募集サ イト開設予定 ・R2.5 ドクターズマガ ジン「病院探訪」に当 院掲載予定
											36	→レジナビ等研修医募集イベント、高知大学医学部の説明会等への参加(継続)。	(参加状況) H29.6.5 高知県初期臨床研修合同説明会参加 6名 H29.7.2 レジナビフェア2017大阪参加 5名 H29.7.16 レジナビフェア2017東京参加 4名 H30.2.2 臨床研修病院合同説明会参加 4名 H30.6.11 高知県初期臨床研修合同説明会参加 6名 H30.7.1 レジナビフェア2018大阪参加 4名 H30.7.15 レジナビフェア2018東京参加 5名 H31.2.14 高知県初期臨床研修合同説明会参加 4名 R1.6.11 高知県初期臨床研修合同説明会参加 5名 R1.6.23 レジナビフェア2019東京参加 4名 R1.7.7 レジナビフェア2019大阪参加 5名				○			
											37	専門医制度における研修医の受入体制を整備する。 →専門研修プログラムの連携施設に登録し、宿舍、医局等の研修環境を整備する。	(参加研修プログラム、専攻医の受入数) ・高知大学の専門研修プログラムの連携施設に登録 (内科、外科、小児科、病理、救急科、眼科、精神科、産 婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、整形外科、脳神経外 科、形成外科、総合診療、麻酔科) ・高知赤十字病院の救急専門研修プログラムの連携施 設に登録 H30.4 総合診療専門研修 1名 H31.4 総合診療専門研修 1名 ・高知医療センターの救急専門研修プログラムの連携 施設に登録				○			
c 卒前教育への協力									38	地域枠で入学した医学生を積極的に受け入れる。	(地域枠出身者又は医師養成奨学金受給者の受 入数) H29.8 へき地医療夏期実習 3名 H30.8 地域医療(へき地医療)夏期実習 3名受入を予 定していたが、台風のため中止 R1.8 地域医療夏期実習 2名				○					

第6期経営健全化計画の取組状況【あき総合病院】

	今後の取組	指標	目標値						No.	具体的な取組内容	達成状況	R元年度 第3四半期評価				コメント		
			H28年度 (実績)	H29年度 (計画)	H29年度 (実績)	H30年度 (計画)	H30年度 (実績)	R元年度 (計画)				R2年度 (計画)	計画 達成	進捗状況			評価 保留	
			計画以上	計画通り	遅延													
									39	学外実習や病院見学の積極的な受入を継続する。	(受入数) H29.4-6 臨床実習Ⅱ(6年生) 13名 臨床実習Ⅰ(5年生) 2名 病院見学(6年生) 1名 H29.7-9 臨床実習Ⅰ(5年生) 12名 病院見学(6年生) 1名 高校生地域医療体験セミナー 5名 H29.10-12 臨床実習Ⅰ(5年生) 11名 H30.1~3 臨床実習Ⅰ(5年生) 1名 病院見学(4年生) 4名 H30.4-6 臨床実習Ⅱ(6年生) 15名 臨床実習Ⅰ(5年生) 1名 病院見学(6年生) 4名 H30.7-9 臨床実習Ⅰ(5年生) 11名 病院見学(6年生) 2名 H30.10-12 臨床実習Ⅰ(5年生) 13名 H31.1-3 臨床実習Ⅰ(5年生) 2名 病院見学 20名 H31.4-R1.6 臨床実習Ⅱ(6年生) 13名 臨床実習Ⅰ(5年生) 2名 病院見学(6年生) 1名 総合診療実習 2名 R1.7-9 臨床実習Ⅰ(5年生) 12名 学外実習(6年生) 2名 病院見学(6年生) 1名 総合診療実習 6名 R1.10-12 臨床実習Ⅰ(5年生) 12名 総合診療実習 4名							
	d 医師以外の医療スタッフの専門性の向上								40	病院が必要とする資格取得について公費負担により支援する。	(公費負担による資格取得状況) H29.5-9 特定行為研修 1名 H29.6-12 認定看護師(救急看護) 1名 R1.6-9 特定行為研修 1名 R1.8-9 認定看護管理者教育課程 1名 R1.9-R2.3 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程 1名							
	e 各種の業務補助者の適正配置								41	医師事務作業補助者や看護補助者等の適正配置を継続する。 →不足人員の募集を継続し、入職後の研修・フォローを充実させ離職防止を図る。	(医師事務作業補助者、看護補助者の配置数) 看護補助者雇用形態を追加した。 看護補助者の配置数は ・パート(7H)看護補助者8名、パート(4H)看護補助者4名 ・臨時看護補助者6名 ・非常勤看護補助者1名 医師事務作業補助者 ・H29.5 臨時→非常勤化 1名(計4名) ・H29.5-6 文書作成研修(12時間)を実施 4名							
	f プロパー事務職員の専門性の向上								42	経営企画力の向上による経営改善 経営管理チーム(委託職員含む。)の設置を検討し、経営分析力を向上させる。	(経営管理チーム開催状況) ・H29.6、7、8、12、H30.3 企画チームと担当で、分析するための指標としてどのようなものが適しているか、収益UPIにはどのような項目が関連しているか検討した。 ・H30.11から毎月幹部会で収益向上策の提案を実施。 ・退院支援について運用の見直しを実施、加算算定率の向上に繋がった。(一桁→34%(元年上半期)) ・R元年12月松阪市民病院世古口先生を講師に招き全職員対象に講習会開催							
									43	病院組織のマネジメント力の向上に向けた研修体制の充実 →外部研修への派遣と、受講者による組織内へのフィードバック。	(外部研修の受講状況) H29.6 医療情報学会への出席 H29.9 診療情報管理士学会への出席 H29.11 医療情報学会への出席 H29.12 日本クリニカルバス学会への出席 H30.1 山口診療情報管理研究会への出席 H30.6 日本がん登録協議会 学術集会への出席 H30.7 院内がん登録実務 初級者研修への出席 H30.9 診療情報管理学会への出席 H31.3 診療情報管理研究会への出席							
4 南海 トラフ 地震 対策 の 充 実 ・ 強 化 !	○業務継続計画(BCP)の実効性の担保								44	重症患者の院内からの搬送体制の整備 →重症患者(ICU、NICU等)の院外搬送のため、病室から屋外へ搬送する手段、人員について検討し、H30年度の災害訓練での実施を検討する。	(検討の経過) ・H30.8.4 災害訓練時に院外搬送訓練実施 ・EVIに事故復旧のプログラムがあるため、故障していない限りはEV搬送が可能。							
									45	県内外からの応援医療チームの受入体制の整備 →受援内容の決定を行う院内組織体制の整備及び応援チームの受入体制を検討し、H30年度の災害訓練での実施を検討する。	(検討の経過) H29.6 県総合防災訓練で院内への活動拠点本部開設・運営訓練を実施 H29.11.26 災害訓練実施 陸上自衛隊第50普通科連隊(衛生科隊員)との共同訓練を実施 H30.8.4 災害訓練時にDMAT受入れ訓練を実施							
										46	DMATの活動で使用する資器材の整備 →既存資器材の更新を含めた整備計画(H29~H32年度)を作成する。	(計画の作成状況) H30予算申請(AED) H31予算申請(インターネット可能な衛星携帯電話) R1.11 インターネット可能な衛星携帯整備						
										47	災害発生時における勤務体制の相違を踏まえた訓練の実施 →深夜帯等の災害発生を想定し、H29年度の災害訓練での実施を検討。	(訓練の実施状況) R1.9.5 夜間勤務者を対象にEMIS入力訓練計画						
	○災害訓練等の充実・強化								48	患者収容能力の向上など、災害拠点病院としての役割・機能の発揮を想定した訓練の実施 →被災者が多数来院することを想定し、廊下の配管設備の活用等、H30年度の災害訓練での実施を検討。	(訓練の実施状況) H29.11.26災害訓練実施 H30.8.4 災害訓練実施 R1.11.24 災害訓練実施予定							

の推進に向け	今後の取組	目標値					No.	具体的な取組内容	達成状況	令和元年度 第3-四半期評価				コメント		
		指標	H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (計画)	R元年度 (計画)				R2年度 (計画)	計画 達成	進捗状況			評価 保留	
												計画以上	計画通り			遅延
							12	退院後の円滑な生活を支える介護サービス等の確保に関して、介護支援専門員等と共同した相互の情報提供等を実施→介護支援連携指導料の算定	○加算算定実績 ・入院時支援加算(H30.6～算定開始) H30:6～3月:117件(月:11.7)→R1:4～11月:162件(月:20.3) ・介護支援等連携指導料(年間50件が要件) H29:133件(月11.1)→H30:212件(月17.7)→R1.11月時点:171(月21.4)							
2 医療機能の向上による経営の健全化!	a 収益の安定確保につながる取組の強化	医業収支比率	78.9%	80.1%	81.9%	82.6%	83.6%	13	包括評価制度(DPC)分析ソフトの活用等により、質の高い医療の提供に向けた取組(DPC機能評価係数の向上等)を検討する。	○分析資料の作成・報告状況 ・機能評価係数Ⅱの分析実施(H30:0.1係数、R1:0.006係数が増加) ・看護必要度Ⅰ、Ⅱの分析実施 ・DPC分析ソフトによるDPCデータの分析と協議 (科長会にて、DPCコード別の在院日数等について協議) (パス委員会・科長会にて、パス設定日数の見直し、後発品の置き換え等を協議) ・DPCに関する院内勉強会の開催						
	b 病院機能評価を通じた質の改善(患者満足度の向上)	経常収支比率	96.7%	98.1%	98.0%	98.7%	99.3%	14	病院機能の評価項目ごとに定期的な点検を行い、必要に応じて改善策を講じる。	○医療サービスをよくする委員会 H29:10回、H30:1回、R1:1回 ○幡多けんみん病院健康まつりを委員会主催で初開催(R1.10.26)						
		病床利用率(結核除く)	71.5%	76.7%	74.9%	76.1%	77.3%	15	医事や給食に関する患者満足度調査を定期的に行い、改善策を検討する。	○満足度調査(医事) H29:9/12～9/25、H30:8/13～8/31、R1:10/16～10/31 ○満足度調査(給食) H29:6月・12月、H30:6月・12月、R1:6月						
		1日平均入院患者数	223.1	230.2	232.8	236.6	240.5	16	接遇研修の定期的な実施を継続する。	○接遇研修教育・研修 ・H29:初任者研修2回、外部講師による研修1回 ・H30:なし ・R1:初任者研修1回、外部講師による研修2回						
	c 収支計画を踏まえた計画的な投資戦略	入院診療単価	51,162	51,620	51,800	51,813	52,097	17	収支状況を踏まえ、電子カルテ等医療機器の更新時期を検討する。	(投資計画見直しの検討) ・器械備品について、毎年度9月に予算委員会を開催し投資計画等を確認						
	d 材料費の適正管理	後発医薬品利用率	83.6%	82.9%	84.9%	85.9%	86.9%	18	後発医薬品への切替を促進する。	(後発医薬品利用率) ・H29:82.9%→H30:85.6% ・R1:4～6月(86.2%)、7～9月(87.3%)、10～12月(90.3%)						
		材料費比率(対医業収益)	21.6%	22.2%	20.6%	20.6%	20.6%	19	在庫量を定期的に把握し適正な管理を行う。 →在庫回転期間を短縮するために発注点(在庫がこの数になったら発注する数量)の設定を行う。	(在庫回転期間) ・診療材料在庫:診療材料委員会で検討(H29:年3回→R1:随時) ・薬品在庫:発注点について定期的に検討(H29:年1回→R1:年1回)						
								20	棚卸資産の受払記録を効率的に作成する方法を検討する。	(受払記録の検討・作成状況) ・診療材料:対応できており、より精度を高めていく ・薬品:データ内容のメンテナンス整備を行っている						
	e 未収金発生の未然防止と適正管理による縮減							21	債権管理条例や未収金管理マニュアル等に基づき、未収金発生の未然防止と適切な管理を徹底する。 →福祉制度の利用支援等により、新たな未収金の発生を防止する。	(医療費に関する相談件数) ・MSWによる医療費(高額療養費、障害者制度、公費負担制度等)に関する相談件数 H29:688件(月57.3)→H30:786件(月65.5) R1:4～6月:282件、7～9月:239件、10～12月:233件(月83.7)						
								22	→未収金管理マニュアルに基づく回収を継続する。	(支払督促、訪問徴収等の状況) ・督促状等の文書送付件数 H29:89件、H30:90件、R1:4～11月:47件 ・滞納者宅等への訪問 H29:6件、H30:2件、R1:4～11月:4件						
23								効率的・効果的な回収業務委託となっているか、定期的に点検する。	(回収委託の状況) ・回収実績 H29:94件・795,490円、H30:127件・1,644,570円 R1:4～9月:89件・771,860円、10～11月:34件・193,530円							
3 医療人材の安定確保!	a 医師をはじめとする医療スタッフの確保						24	高知大学医学部への医師派遣要請を継続する。	NO.2に記載							
							25	健康政策部や高知医療再生機構等との連携を強化する。 →高知大学から派遣が困難な診療科の医師について、高知医療再生機構から人材派遣受入れを検討する。	NO.3に記載							
							26	必要に応じて医師の公募を行う。 →高知大学の了承のもとホームページで医師の公募を行う。	No.4に記載							
							27	看護師の助産師養成機関への派遣を通じた養成を継続する。	・H29:1名派遣 ・H30:派遣は実施しなかわりに、高知県立大学からの助産師実習人数・分娩件数を増やすことで、学生時からの育成・確保に取り組んだ。 ・R1:助産師養成のため高知大学へ1名派遣、H30に引き続き、高知県立大学からの助産師実習人数・分娩件数に取り組み中。 ・R1:インターンシップ受け入れ:1名(高知県立大学生)							

	今後の取組	目標値					No.	具体的な取組内容	達成状況	令和元年度 第3-四半期評価				コメント		
		指標	H28年度 (実績)	H29年度 (実績)	H30年度 (計画)	R元年度 (計画)				R2年度 (計画)	計画 達成	進捗状況			評価 保留	
												計画以上	計画通り			遅延
	b 医師の養成研修への積極的な対応						28	初期臨床研修医を確保する。	・H29年度生:3名、H30年度生:6名/枠6名 ・H31年度生:3名/枠6名 ・R2年度生:募集枠7名(マッチング6名+自治医1名) マッチング応募者9名→結果:5名/7枠			○				
							29	→レジナビ等研修医募集イベント、高知大学医学部の説明会等への参加(継続)。	各イベント参加状況 H29:7回、H30:6回 H31:5/26eレジナビ東京、6/11高知大説明会、6/23レジナビ東京、7/7レジナビ大阪、10/13eレジナビ福岡			○				
							30	専門医制度における研修医の受入体制を整備する。 →専門研修プログラムの連携施設に登録し、宿舎、医局等の研修環境を整備する。	・19領域中15領域で連携施設継続中。 ・小児科は基幹施設としてプログラム更新済み ・サブスペシャル1領域(呼吸器専門医)で関連施設申請 ・サブスペシャル領域(消化器内視鏡専門医)で関連施設申請予定			○				
	c 卒前教育への協力						31	地域枠で入学した医学生を積極的に受け入れる。 →地域枠卒業者が増加し、高知市、南国市以外の医療機関での勤務ニーズが高まるため、受入れを積極的に行う。	(地域枠卒業生・奨学金受給者数) H29:7名、H30:11名(うち研修医8名) H31:16名(うち研修医8名)			○				
							32	学外実習や病院見学の積極的な受入を継続する。	・学外実習6年生:H29:17名、H30:16名、R1:19名 " 5年生:H29:44名、H30:36名、R1:19名 ・病院見学:H29:7名、H30:9名、R1:7名 ・地域医療実習:R1:2名受け入れ ・地域医療道場(高知大):R1:29名受け入れ			○				
	d 医師以外の医療スタッフの専門性の向上						33	病院が必要とする資格取得について公費負担により支援する。	(資格取得状況) H29:アドバンス助産師(更新1名)、認定産業医(登録1名) H30:認定看護師(更新2名、認定1名)、第2種減菌技師(更新1名、認定1名) R1:認定看護師(更新2名)、専門看護師(認定1名)			○				
34							医師事務作業補助者や看護補助者等の適正配置を継続する。 →不足人員の募集を継続し、入職後の研修・フォローを充実させ離職防止を図る。	・配置人数(各年4/1現在) 医師事務 看護補助 看護助手 H29 10 3 24 H30 8 3 22 H31 9 11 24 ・R2.4月施行の会計年度任用職員制度に伴う適正な人員配置にむけ検討中(院内説明会:R1.12.26)			○					
e 各種の業務補助者の適正配置						35	薬剤管理委託業務の拡大を検討する。									
						36	経営企画力の向上による経営改善 経営企画担当の体制強化等により、経営分析力を向上させる。 →経営分析に基づいた収支改善策を経営幹部へ提案する。	・研修参加(総務担当:病院管理研修 医療経営専攻課程) H29:6回(12日)、H30:6回(12日) R1:5/17-18.6/14-15.7/11-12.8/23-24.9/20-21.10/11-12 ・分析資料等の作成と経営幹部会での毎月の協議 (毎月・診療科毎の、入院、外来別患者数、入院日数、収益、診療単価、紹介・逆紹介、看護必要度II等) ・DPC解析結果を基にした委員会、科長会での検討			○					
f プロパー事務職員の専門性の向上						37	病院組織のマネジメント力の向上に向けた研修体制の充実 →外部研修への派遣と、受講者による組織内へのフィードバック。	(外部研修の受講状況) ・病院管理研修医療経営専攻課程受講			○					
						38	医療機器等の安全性の確保 →医療機器等の機能維持と安全性の確保対策について医療機器メーカー等から情報収集を行い、検討(予算化)を実施する。	・医療機器の固定等を適宜実施 固定可能な機器の固定と並行して、メーカー等から安全確保対策情報を収集しながら対策を検討中			○					
4 南海トラフ地震対策の充実・強化！	○業務継続計画(BCP)の実効性の担保					39	重症患者の院内からの搬送体制の整備 →重症患者(ICU、NICU等)の院外搬送のため、病室から屋外へ搬送する手段について、31年度予算に計上した備品の整備および訓練等での活用	(重症患者の搬送体制) ・H29よりエアストレッチャーの段階的な整備(H30:4台+R1:4台整備)を計画し、訓練等で搬送用手段としての練度を高めている			○					
						40	DMAT活動拠点本部および当院差異が対策本部の機能強化 →H30年度の検討で課題とされたネットワーク環境(PC)の不足について、H31年度に整備し、今後の活用方法などを検討する。	(検討の経過) ・DMAT活動拠点本部および当院差異が対策本部でのネットワーク環境のPCを段階的に整備(H30:7台+R1:3台)し、EMIS訓練等を通じ練度を高めている			○					
						41	DMATの活動で使用する資器材の整備 →既存資器材の更新を含めた整備計画(H29~H32年度)を作成する。	(整備状況) ・携帯型超音波診断装置をH32(R2)年度に整備の計画だったが、R2に病棟が同様の機器を整備予定のため、当面は病棟の機器を活用予定			○					
						42	高知県医療救護計画の改定内容を踏まえた訓練の実施 →平成31年度の災害訓練での実施を検討。	(訓練) ・毎年、市町村、保健所との合同訓練を開催(H29:11/25、H30:11/17、R1:11/17) ・H30訓練結果をふまえ、院内災害対策本部を会議室から経営事業課執務室に変更(H31.4月~)			○					
						43	災害拠点病院としての役割・機能の発揮を想定した訓練の実施 →救護所・救護病院との連携等、H31年度の災害訓練での実施を検討。	・情報伝達、医療救護活動を中心に、定期的に訓練・事後検証を行い、今後の資源投資やマニュアル・計画等修正につなげている。			○					

第6期経営健全化計画の取組状況【県立病院課】

	今後の取組	目標値						No.	具体的な取組内容	達成状況	R元年度 第3四半期評価				コメント	
		指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度				計画達成	進捗状況				評価保留
			(実績)	(計画)	(計画)	(計画)	(計画)					計画以上	計画通り	遅延		
2 医療機能の向上による経営の健全化！	d 材料費の適正管理							1	棚卸資産の受払記録を効率的に作成する方法を検討する。	H29.9.25 両病院に薬品診材の受払管理に係る照会を実施。課題の整理を継続中					○	
	e 未収金発生の未然防止と適正管理による縮減							2	債権管理条例や未収金管理マニュアル等に基づき、未収金発生 of 未然防止と適切な管理を徹底する。	H29.10.25 H29年4月施行した高知県債権管理条例に基づく債権放棄について、知事部局の定める具体的手順等についてすり合わせを実施。 H29.11.13 各病院経営事業部長に対し知事部局における検討状況について報告。 H30.1.31 各病院事務担当者に高知県債権管理条例に関する説明会を開催。 H30.3.26 公営企業局債権管理推進部会を開催。 H30.4.9 「個人未収金」に係る遅延損害金及び債権放棄の状況について全国照会を実施。 H30.11.7 公営企業局債権管理推進部会を開催。10件(139,460円)の債権が放棄要件を満たしているとして承認された。 H30.12.17 債権放棄に係る債務者住所氏名の公表等について、文書情報課と協議。 H31.1.16 年度末までの債権放棄スケジュールについて、管財課、税務課(税外債権対策室)と協議。 H31.3.20 公営企業局債権管理推進部会を開催。9件(311,960円)の債権が放棄要件を満たしているとして承認された。 H31.3.29 債権放棄実施。「診療に係る債権」19件(451,420円) R1.6.14 議会報告(R1.6.24 常任委員会報告) R1.11.6 公営企業局債権管理推進部会を開催。8件(247,380円)の債権が放棄要件を満たしているとして承認された。			○			
	a 医師をはじめとする医療スタッフの確保							3	高知大学医学部への医師派遣要請を継続する。	H29年度 5.16、7.18、11.14、11.20、3.20 訪問 H30年度 4.10、8.14、9.21、11.13、11.20、2.22、2.25 訪問 R元年度 4.12、4.19、6.13、8.13、8.16、9.11、9.12 訪問				○		
定3 確 保 ！ 人 材 の 安 心	f プロパー事務職員の専門性の向上							4	病院組織のマネジメント力の向上に向けた研修体制の充実	病院管理研修(医療経営専攻・全28講義)派遣 あき3名、幡多3名 診療情報管理士通信教育受講 あき1名				○		
	化のフ4 ！ 充 地 南 実 震 海 ・ 対 ト 強 策 ラ	○業務継続計画(BCP)の実効性の担保						5	災害時の県立病院課職員の役割を明確化	H29.10月 総務、経理及び経営支援各担当業務について、発災後72時間後及び1か月後までの2段階での業務抽出及び優先順位づけを実施完了。 H31.3月 「南海トラフ地震応急対策マニュアル」を策定。				○		